

## 千葉県立病院新改革プランに係る論点の整理について

## 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

○高度・特殊な専門医療を取り扱う4病院：

がんセンター、救急医療センター、精神科医療センター、こども病院

**(前回の議論を踏まえた整理)**

→ 引き続き、圏域では対応できない医療の最後の砦としての役割を担うとともに、全県を対象に高度専門的見地から地域の医療機関を支援していく。

○循環器に関する高度・特殊な専門医療と地域における中核医療を行う1病院：循環器病センター

**(前回の議論を踏まえた整理)**

→ 地域医療とのバランスを考慮しつつ、循環器に関する高度・特殊な専門医療の効率的な提供について、検討する必要がある。

○地域における中核医療を行う1病院：佐原病院

**(前回のご意見)**

- ・ 佐原病院は、地域医療において重要な役割を担っているとともに、隣接する成田や海匝地域の医療体制との関係性も大きい。
- ・ 今後の方向性について、地元自治体での検討もされているようだが、他人任せにすることなく、県が主体的に検討していくことが必要である。
- ・ 地域包括ケアシステムの観点からも、佐原病院が在宅医療の充実に取り組むことは意義あることと考えられる。
- ・ 成田に新たに大学病院ができることは、千葉県の医療のあり方に非常に大きな影響があると考えられる。

**(前回の議論を踏まえた整理)**

→ 佐原病院については、現在担っている地域医療の役割を果たせるよう、耐震性確保や在宅、救急医療などの診療体制充実を図るとともに、今後のあり方について、地域の医療ニーズや隣接医療圏の医療提供体制の変化も踏まえながら、効率的・効果的な方向性について、検討していく。

## 2 経営の効率化

### ○経常収支比率に係る目標設定の考え方

#### (前回の議論を踏まえた整理)

→ がんセンター新棟建設に伴う減価償却負担が大きく、対象期間中（H32年度まで）の経常黒字化は非常に困難と思われる。このため、可能な限りの収支改善に取り組むとともに、がんセンター 新棟建設、救急医療センター・精神科医療センターの一体的整備の影響を考慮し、経営黒字化を目標とする時期について、期間を延長して検討する。

### ○目標達成に向けた具体的な取組

#### (前回のご意見)

- ・ トップ層はもちろんだが、職員がしっかり受け止めて取り組まないと、経営改善は難しい。職員が前向きに取り組める仕組みづくりが必要である。
- ・ 精神科医療センターに顕著なように、県立病院は多くの不採算医療を担っている。はじめから赤字ありきでは、職員も元気が出ないのではないか。役割に応じた経営目標を設定し、経営改善に取り組むことが重要である。
- ・ 佐原病院の経営状況については、他の自治体病院の状態と比較して、単純に医師不足によるものだと整理できるのか疑問である。地域の医療需要に応じた効率的な経営のあり方を地元自治体等としっかり議論していくことが必要である。

#### (前回の議論を踏まえた整理)

→ 県立病院に求められる役割を踏まえた上で、可能な限りの収益増と費用の効率化を図るための具体的な取組を、数値目標を含めて設定する。

### 3 再編・ネットワーク化

#### ○再編・ネットワーク化に係る計画

##### (前回のご意見)

- ・救急医療センターは、精神科医療センターとの一体的整備が予定されているとのことだが、他の救急医療機関とのネットワークを構成することが必要だと思うし、これは県が中心となって進めるべきことだと考える。
- ・千葉大学としても、高次の救急医療について、県救急医療センター等と連携して、役割を担っていきたいと考えている。
- ・がんセンターにがんばっていただきたい。医療事故が起こると職員は委縮してしまうので、医療安全対策に一生懸命取り組むと同時に、職員を元気にする取り組みも行うべきと考える。
- ・がんセンターについては、県民だよりなどを通じて様々な改革案に誠心誠意取り組んでいることをお知らせすれば、県民の信頼も増していくと思う。
- ・佐原病院は、地域医療において重要な役割を担っていると同時に、隣接する成田や海匝地域の医療体制との関係性も大きい。(再掲)
- ・成田に新たに大学病院ができることは、千葉県の医療のあり方に非常に大きな影響があると考えられる。(再掲)

##### (前回の議論を踏まえた整理)

→ 救急医療センター・精神科医療センターの一体的整備に当たっては、従来の二つの病院を一つの病院として整備し、身体・精神の救急医療のより効果的・効率的な提供を図るとともに、他の主要な県内救急医療機関とネットワークを構成し、救急医療情報を共有することで、救急診療に当たる医師をはじめとした医療資源の効率的な運用と救急医療の即応体制の強化を図る。

がんセンターについては、早期に都道府県がん診療連携拠点病院の再指定を目指し、県内がん拠点病院のネットワークの中心的な役割を担っていく。また、建物の老朽化・狭隘化の課題があるため、新棟を整備し、最新のがん医療に質・量ともに適切に対応していく。

佐原病院に関しては、地域医療における機能連携や安定的な医師確保について、地域医療構想や隣接する成田市に新たに大学病院ができること等を踏まえ、ネットワーク化の方向性について検討する。

#### 4 経営形態の見直し

○経営形態の見直しに係る選択肢

(前回のご意見)

- ・ 佐原病院に関し、地元自治体では民間病院の誘致も視野に入れた検討がされていると聞いているが、県は県の医療全体を視野に入れた議論をしていくべきである。

(前回の議論を踏まえた整理)

→ (第2回の議論を踏まえて検討)